

ソウル東京フォーラム2012が開催されました

産学公連携センター

8月29日（水）に首都大学東京南大沢キャンパス11号館にて、『ソウル東京フォーラム2012』が開催されました。このフォーラムは日韓それぞれの首都に位置する首都大学東京とソウル市立大学による、水道に関する研究の成果発表会です。首都大学東京、東京都水道局、日本水道協会と、ソウル市立大学、ソウル上水道事業本部、韓国上下水道協会の6者による水環境（上下水道）に関する国際交流は他に例のないものです。

11回目を迎えた今年は日本での開催となり、テーマを“Water Issues of Asian Megacities”（アジアのメガシティが取り組む水問題）として行いました。



フォーラムの冒頭では、首都大学東京の小泉明特任教授（産学公連携センター長代行）およびソウル市立大学のK00, Ja-Yong 教授によるスピーチがありました。小泉先生のご挨拶では、「安全な水を飲めない人が大勢いる中で、日本と韓国はこの状況を変えていく重要な役割がある。」とこの会議の重要性を話されていました。



小泉 明 特任教授（首都大学東京）



K00, Ja-Yong 教授（ソウル市立大学）

口頭発表は3部で構成され、第1部では“Efficient Management”、第2部では“Water and Wastewater Systems”、第3部では“Water Distribution/ Supply”と題してそれぞれの部で4名の研究者が発表しました。発表会には70名ほどの出席があり、活発な意見交換が行われ、盛況のうちに終わることができました。



フォーラム最後の講演で発表された荒井康裕准教授（首都大学東京）。